

令和4年度 第三商業高等学校 年間授業計画
 教科：(商業)科目：(経済活動と法) 対象：(3年1組～6組)

教科担当者：(商業科：1組：鈴木美 ◎、2組：宇野 ◎、3組：淡中 ◎、4組：島村 ◎、5組、6組：田中 ◎)

使用教科書：経済活動と法 新訂版(実教出版)

使用教材：「経済活動と法」新訂版 問題集(実教出版)

	指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	配当 時数
4月	第1章 経済活動と法 1-変化発展する経済活動と法 1. 経済活動における法の役割 2. 法の意義と体系	・経済活動の円滑な流れは法によって行われることを理解させる。 ・法とはどんなものか、その本質を明らかにし、法の体系を理解させる。	知識、技能、思考、関心 授業ノート	1
	3. 経済環境など社会の変化と法 4. 法の適用と解釈 第2章 権利・義務と財産権 1-権利・義務とその主体 1. 権利と義務	・法の分類、効力、適用と解釈など法を学ぶための基本的なことがらを理解させる。 ・我々の生活は法律関係で成り立っており、その権利・義務の意義、関係そして主体について学習し理解させる。	知識、技能、思考、関心 授業ノート	3
	2. 権利・義務の主体 3. 自然人の権利能力 4. 自然人の行為能力と制限 行為能力制度 5. 法人	・権利・義務の主体としての自然人について権利能力・行為能力の理解と制限 行為能力者制度へと理解を及ぼす。 ・権利・義務の主体としての法人について理解させる。	知識、技能、思考、関心 授業ノート	3
5月	2-物と財産権 1. 物 2. 財産権とその種類 3-知的財産権 1. 著作権	・物権の対象としての物の概念と範囲を理解させる。 ・物の分類の法律上の意味を理解させる。 ・相隣関係についても理解させる。 ・知的財産権の全体像を理解させる。 ・各権利の意義を理解させ、その内容や存続期間についての概要を整理させる。	知識、技能、思考、関心 授業ノート	2
	2. 工業所有権	・知的財産権の全体像を理解させる。 ・各権利の意義を理解させ、その内容や存続期間についての概要を整理させる。	知識、技能、思考、関心 授業ノート	3
	3. 育成者権	・知的財産権の全体像を理解させる。 ・各権利の意義を理解させ、その内容や存続期間についての概要を整理させる。	知識、技能、思考、関心 授業ノート	3
	4. 回路配置利用権	・知的財産権の全体像を理解させる。 ・各権利の意義を理解させ、その内容や存続期間についての概要を整理させる。	知識、技能、思考、関心 授業ノート	3
	5. 知的財産権の特質 6. 知的財産権の活用	・知的財産権の全体像を理解させる。 ・各権利の意義を理解させ、その内容や存続期間についての概要を整理させる。	知識、技能、思考、関心 授業ノート	3
6月	第3章 財産権と契約そしてその保護 1-財産権と契約 1. 取引と契約 2. 契約の一般原則 3. 契約と意思表示	・財産権の変動、権利の発生・変更・消滅の契約について理解させる。 ・契約の性質を理解させる。	知識、技能、思考、関心 授業ノート	3
	4. 契約の分類	・契約の性質による分類を理解させる。	知識、技能、思考、関心 授業ノート	3
	2-物の売買 1. 売買 2. 不動産の売買 3. 動産の売買 4. 債権の売買	・売買の実行に伴い、所有権の移転に伴う諸問題を学習させる。 ・不動産所有移転の対抗要件としての登記を学習させ登記の意味を明らかにし、物件の公示原則について理解させる。 ・動産所有権の移転と対抗要件、関連して動産の即時取得について理解させる。 ・債権の譲渡、その方法について理解させる。	知識、技能、思考、関心 授業ノート	4
	5. 売買契約の保証	・売買契約の担保責任や同時履行の抗弁権、危険負担について理解させる。	知識、技能、思考、関心 授業ノート	4
	3-物の貸借 1. 消費貸借 2. 質貸借 3. 宅地の貸借	・民法の典型契約の代表的なものとして消費貸借・質貸借の一般的な理解をめざす。	知識、技能、思考、関心 授業ノート	4
7月	4-契約によらない財産権の変動 3. 債権・債務が消滅する特別な場合 5-財産権の保護 1. 物件の保護	・民法の典型契約の代表的なものとして消費貸借・質貸借の一般的な理解をめざす。 ・時効の制度の趣旨や内容について理解させる。 ・債権・債務の特例について理解させる。 ・物権的請求権を具体例を通して理解させる。	知識、技能、思考、関心 授業ノート	3
	2. 債権の保護	・債権の対外的効力について理解させる。	知識、技能、思考、関心 授業ノート	3
	同上	同上	知識、技能、思考、関心 授業ノート	3
9月	3. 債権の担保	・債権取引の安全を確保するため、債権者平等の原則を理解させる。	知識、技能、思考、関心 授業ノート	3
	4. 不法行為 第4章 企業活動に関する法 1-企業活動の主体 1. 民法と商法 2. 商行為	・不法行為に関する損害の賠償について学習する。 ・商法、商行為について理解させる。	知識、技能、思考、関心 授業ノート	3

10月	2-営業活動の自由と制限 1. 営業自由の原則 2. 営業自由の制限 3-株式会社と法	・営業自由の原則について理解させる。 ・営利社団法人としての株式会社の法的意義を学習させる。	知識、技能、思考、関心 授業ノート	3
	3. 株式会社設立の手続き 4. 発起人の設立時取締役の責任 5. 株式と株主の権利 6. 株式の種類 7. 株式の譲渡	・株式会社の機関のそれぞれの機能と各機関相互の関連を明確に理解させる。	知識、技能、思考、関心 授業ノート	3
	8. 株式会社の機関とその種類 9. 株主総会 10. 取締役・取締役会・代表取締役 11. 取締役の義務と責任	・株式会社の機関のそれぞれの機能と各機関相互の関連を明確に理解させる。	知識、技能、思考、関心 授業ノート	3
	12. 監査役 13. 会計参与 14. 会計監査人 15. 委員会設置会社	・株式会社の機関のそれぞれの機能と各機関相互の関連を明確に理解させる。	知識、技能、思考、関心 授業ノート	3
	18. 会社関係書類の電子化と電子公告 第5章 取引に関する法 1-手形・小切手と法 1. 手形・小切手の意義と性質 2. 手形行為・小切手行為	・株式会社の機関のそれぞれの機能と各機関相互の関連を明確に理解させる。 ・手形・小切手について法律上の要件と制度について理解させる。	知識、技能、思考、関心 授業ノート	3
11月	3. 約束手形 4. 為替手形 5. 小切手 6. 手形・小切手と企業活動	・約束手形の書面性・要式性の理解をふまえて法定の記載事項について理解させる。 ・為替手形の制度を理解させる。 ・小切手の意義と性質について復習し、記載事項と自由譲渡性について理解させる。	知識、技能、思考、関心 授業ノート	3
	2-金融取引 1. 金融取引の現状と課題 2. 金融商品取引 3. 電子記録債権 4. 電子資金移動の現状と課題	・金融商品取引法、電子記録債権法、資金決済法がどのように立法されたかを理解させる。 ・電子資金移動の現状と課題について理解させる。	知識、技能、思考、関心 授業ノート	3
	第6章 企業の責任と法 1-法令遵守 1. 法令遵守 2. 企業における法令遵守の重要性 3. 説明責任	・企業の法令遵守について理解させる。 ・企業の正しい説明責任の本質を理解させる。	知識、技能、思考、関心 授業ノート	3
	2-消費者と法 1. 消費者の保護に関する法律 2. 消費者の安全 3. 生活に身近な特殊売買	・市民生活を送る上でのわれわれの生活を守る法律の存在について学習させる。	知識、技能、思考、関心 授業ノート	3
12月	4. 消費者信用 5. 販売方法の多様化と消費者の保護	・市民生活を送る上でのわれわれの生活を守る法律の存在について学習させる。	知識、技能、思考、関心 授業ノート	3
	3-労働と法 1. 労働に関する一般法 2. 労働に関する特別法	・労働の提供に関する民法上の諸規定について理解させる。 ・労働三法について理解させる。	知識、技能、思考、関心 授業ノート	3
	3. その他に労働に関する特別法 4. 働く者の福祉 雇用に関する諸問題	・憲法の理念を受けてのいろいろな福祉の制度について理解させる。 ・今日の雇用にかかわる課題に取り組みさせる。	知識、技能、思考、関心 授業ノート	3
1月	4-紛争の予防と解決 1. 紛争の予防 2. 紛争の解決 3. 強制執行 発展学習 家族と法	・紛争の予防制度としての公証制度を理解させる。 ・紛争の解決方法として和解・調停・仲裁および民事訴訟があることを学習し、それぞれの制度の特色を理解させる。	知識、技能、思考、関心 授業ノート	3
	1. 親族の法律関係 2. 夫婦の法律関係	・戸籍についてそして親族について、理解を求めめる。 ・夫婦の法律関係として、婚姻の成立、離婚または死別までの種々相を理解させる。	知識、技能、思考、関心 授業ノート	3
	3. 親子の法律関係 4. 相続の法律関係	・親子関係について実子と養子の2点を理解させる。 ・ある人の死亡に伴う財産の整理のあり方について学習させる。	知識、技能、思考、関心 授業ノート	3
	5. 家庭裁判所	・家庭・身分関係の法的争いの処理、もしくは防止としての家庭裁判所の機能について理解させる。	知識、技能、思考、関心 授業ノート	3
2月				
3月				

● 2 単位 (70) ・ 3 単位 (105) ・ 4 単位 (140) ● 計 105

■ 2 単位 (24+30+16=70) ■

■ 3 単位 (36+45+24=105) ■

■ 4 単位 (48+60+32=140) ■